

心友会だより

第 4 1 2 号

昭和44年6月1日創刊
平成21年5月8日発行
発行所及責任者
川崎市多摩区東生田4-13-17
電話番号 044-976-0708
郵便番号 214-0031
宗教法人出雲心友教会
編集兼発行人 佐藤武彦
毎月8日1回発行
1部150円 (送料共)
年間購読料1,800円

春季例大祭

五月二十四日(日)は、春季例大祭の当日です。今から心づもりされて、
万障お繰り合わせの上、是非おまいり下さいませ。そもそも大祭は、皇室の



お花見旅行より

祭祀の一つとして、天皇が親しく執り行う祭典即ち、元始祭・皇霊祭・神殿祭など最も重い御祭であり、今では各神社ごとに重要な御祭としてお伝えさせて頂いています。

期日につきましては各神社別の由緒慣例に基づいて一様ではありませんが祭神に縁故ある日とか、鎮座に関係ある日とかが通例となっていて、大部分は例祭日が決まっています。

明治以後の神社制度では例大祭は祈年・新嘗の両祭と共に三大祭と称され、地方官庁の長またはその代理者が弊帛供進使として参向しましたが、戦後この制度は廃止されました。

出雲心友教会では、毎年春と秋の二回、例大祭として盛大かつ荘厳に執り行われます。

この日は、正面の御扉が開き、御神体を拝見できる

数少ないチャンスの日でもあります。当然、直接波長を受けることができる訳ですから、普段より強い霊波を感じるはずですよ。

肉体の親は、言うまでもなく自分の両親ですが、魂の親、心の親は、大国主大神様に他なりません。

親、友人などの人間はごまかせても、自分と大神様は、絶対にごまかせないのです。

ですから、一日一日を自分の気がとがめない様に、大神様に裁かれぬ様に、大切に生きて行きたいものです。

我々人間は、この世(前世)に、前世(生まれ変わる前)の果たしや、先祖の因縁などを受け継いで、今日に至っているのですから苦難は避けられないところですが、自分の為にも子孫の為にも新しい因縁だけは作らない様に、毎日を生生活して行きたいものです。

そして、『生かされている』事に対して感謝の念を常に持ち続ける努力をしなければなりません。

大神様は、感謝のおまいを大変お喜びになられます。月並祭、年祭……。とにかく自分自身の勝手まわりではなく、御守護神に対する感謝のおまいです。

時には、肉体の親である両親にすがる様に、心の親である大国主大神様に祈願する事も良いでしょう。

しかし、『商売繁盛、家内安全、無病息災……』毎日、毎日お願いばかりの御利益信仰に走ってしまったら、大神様もきつと「いかげんにしなさい！」と言いたくなるはずです。

私たちが、朝に晩に毎日奏上している神拝詞には、『もうこれ以上お願いする事はない』というぐらいくの願ひ事が込められているのです。祝詞本(紫色の表紙)末広会にて販売の裏に意味が書かれておりますので、良く読んで、意味を理解した上で神拝詞を奏上してみてください。そうすれば、より一層おまいの大切さを痛感すると思いますので……。

おまわりをしている人とそうでない人、一年間でも

相当差ができるはずです。幸運にも私たちは、神々の司であらせられる大国主大神様と御神縁で結ばれています。

これは、並大抵の事ではありません。日本人のほんの一部でしかないのです。日本中、いや世界中には何らかの理由で困っている人たちが、数えきれない程いるはずです。

そんな中で、まず日本人に生まれた事に感謝、毎日を無事に過させて頂いている事に感謝……。感謝しようと思えばいくらでも、対象となる事、対象となる物がたくさんあります。

この事をしっかりと頭の中に入れ更に大国主大神様の『争うなかれ、愚痴るなかれ、謗(そ)しるなかれ』という教えを守る様、努力する事こそが、大国主大神様に近づく最良の道なのです。

大祭は、最も重要な御祭です。

五月二十四日(日)の正午からの大祭には、心にも時間にも、ゆとりをもつて万障お繰り合わせの上、おまいり下さいませ。

言葉と真心

人間が、いくら心で思っているても、形にあらわれなくては、なかなか相手には理解してもらえないと思います。

逆に真心があれば、その心を何か形にしようと思っはずです。

一日の生活の中には、家族とのふれあい、他人とのつきあいなどがあり、その中だけでもわずらわしい事が出てくるものです。

つい相手を裁きたくなったり、言い訳をしたりして自分の心を素直にあらわさない事も多いと思います。

また、自分の心では、そう思わない事を周囲の事情や、その場の雰囲気や妥協してしまつて真実でない事をしてしまう事すらあるのです。

心を形にあらわすという事で、一番身近なのは、私達が日常話している、この言葉です。

『言葉は生命なり』と言いますが、心が形にあらわれた言葉で話すという事も頭ではわかっていてもなか

なかむずかしいものです。

ついつい無責任な言葉を発して人を傷つけてしまつたり、あまり考えないで発した言葉によって自分自身の信用を無くしてしまつたりする事すらあります。

言葉は、本当に大切なものです。

言葉の次が行動です。一日の生活の中の行動について、大國主大神様のお心に添う行動が自然に出来る様になりたいと思ひます。

『いつも、大國様が見ていて下さる。聞いて下さる。そして、守って下さる。』という安心感を持ち、真心の行動が日常生活の中でも出来る様になる事を心掛けたいと思ひます。

そうすれば、大神様に愛され、大いなるおはからい、つまりお手振りが、お動きになるのだと思ひます。一人一人の方々が、真心を形にあらわす生活を心掛け、積みあげてゆけば、一軒の家庭が円満で、平穩になり、社会も住みやすくなつて、世界平和へとつながつてゆくのだと思ひます。

どうか、出雲心友教会の

皆様方が、率先して真心を形にあらわす生活を積みあげ、世界が平和になる様念じて頂きたいと思ひ次第です。

大國主大神様は、平和の神様でもあります。一人でも多くの人々に平和な社会、家庭という環境が整います事を念じてやみません。

日本は、本当に平和な国です。世界からみるとそう思ひます。

戦争もありませんし、テロの心配もほとんどないと言つて良いでしょう。

本当に有難い事です。しかし、最近考えられない事件が、多発しているのです。それも、自分の思い通りに行かないからと言つて、すぐに人を殺してしまふのです。

人それぞれ、育つた環境も違ふでしょうし、考え方も当然違ふでしょう。だからと言つて、何物にもかえられない尊い命をいとも簡単に奪つてしまふという事は、とても考えられない事です。

これは、どう考えたら良いのでしょうか。

考えられる事は、今の人間は目に見える現象しか信じておらず、死んだら終りと思つているので、生きて

いる間に何でも思い通りにしようと思ひ込んでいる事です。それでも殺人には結びつきません。

それは、先祖供養が足りていない家庭が多い事に原因があると思ひます。

死んだら終りだと考えているから先祖供養は必要ないという考えこそ、本当に大間違ひなのです。

死んだ人間も幽世で苦しんでいるから、身内や知人にたよるのですが、気づいてもらえない。

先祖供養をしつかりさせて頂かないとそういう先祖が増えてしまつて大変な事になります。

私達は、あの世の神でもある大國主大神様を信仰させて頂いているのでそういう事はないと思ひますが、何事も真心が大切です。



心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン
心友会だよりを年間千八百円(二部につき)でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。
(郵送先をお知らせ下さい。)

●会長先生のご著書でございます

会長先生のご著書、「日本の心 神道入門」(再版)、「霊のめぐみ 霊のさわり」、「神霊の奇跡」、「神のこころ・霊のめぐみ」、全て、末広会にて販売しております。

在庫に限りがございますので、お早めにお求め下さい。

ご不明な点等、ございましたら
〇四四(九七六)〇七〇八
佐藤まで

大自 然の恵みを活かして住まう 省エネ 活性化住宅

太陽で24時間床暖房 ハイブリッド ソーラーハウス

奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間(全館床暖房) エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。
下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。

出雲心友会 横浜支部会員

My Hands 有限会社白幡工務店

〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp
代表取締役 金子文雄

末広会コーナー

●各種贈答品承ります。
多少に拘らず、お気軽にご用命下さい。

●冠婚葬祭用カタログございます。
自由に選べるカタログオーダー。予算別には、贈答品文庫カタログ。是非ご利用下さいませ。

詳しくはお電話にて。
●宮城県産、キヌヒカリを御奉納米として承っております。

また、ご自宅用としても、名水の逸品のキヌヒカリをお召し上がりください。

発送も致しております。

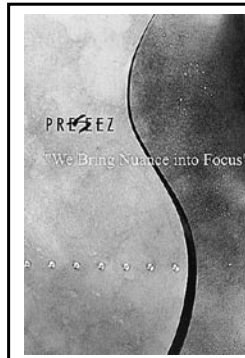
●多良間島産の黒糖販売開始
さとうきびから作られた本物の黒糖です。

是非、お求め下さい。

●新製品続々登場
※詳しくは、お店にて。

●他にも多数商品がございます。

お問い合わせ、資料請求は、
〇四四(九七六)二八八二まで



発想をアクティブート。
伝える情報を伝える情報に。
マルチカルチュラル時代の
コミュニケーションサービスを
展開しています。

株式会社 プレシーズ

〒108-0072 東京都港区白金 1-25-20
Tel : 03-3444-7111 (代) Fax : 03-3442-5775
E-mail : mails@preseez.co.jp
Homepage : http://www.preseez.com

幸せになるために

人間である以上、誰もが望む事は、毎日平穩無事で過ごし、「今日も幸せで良かった」と心から言える事だと思います。

大國主大神様を家の御守護神としてお祀りなさり、信仰に励まれている皆様はそうなる機会に恵まれた幸せな方々なのです。

しかし、いくら大國主大神様に手を合わせていても感謝する心がなければ、幸せにはなれません。

突発的事故や事件、ポツクリ病などで亡くなられる方々の事を思うと、人間の生死は人の力ではどうする事も出来ない、大神様のおはからいに他ならないのです。

ですから「今日もこうして生かされている事」に感謝する事が、第一歩です。

その上、健康で働く事が出来て、更に良い運や良い縁に恵まれていれば、何も言う事はないでしょう。

そういう意味でも、朝のおまいりは、今自分に与えられている全ての事に感謝

するおまいりでなければなりません。

一方、生命や健康、運や縁など目に見えないものごとくに感謝出来ない人たちは気の毒な方々です。

こういう人たちは、目に見える物だけに幸せがあると錯覚している不幸な人々だと言えます。

私たちのまわりには、物が氾濫しています。人間は、物を追いかけて出すと、欲望に際限がない為歯止めがきかなくなってしまう。

車にしても軽乗用車より外車、家にしても狭い物より広い物、指輪にしても石の小さい物より大きい物と言う様になってしまっている。

しかし、それを得る為には豊富な資金が必要なので何でも思い通りになるとは限りません。

そうなった時、物事に感謝する心のない人は、今ある物には感謝出来ず、不足を言い不満のかたまりとなってしまう。

そして、他人と比較しては、みじめな、不幸な気持

ちで、毎日を生活する事になってしまっている。

こういう人たちが不幸なのは、物事に感謝する心を全く持っていないという点にあります。

もうひとつは、目に見える物こそが、人の幸、不幸を決める全ての要因と思っている事です。

こういう人たちは、自分の心に不幸の原因がある事には全く気づいていないのです。

目に見える物だけを追いかける欲望からは、決して幸せな心は得られないのは明白なのです。冷静になって、欲望を抑える事を学ばなければならぬと思います。

そして、目に見えない要因、つまり、命、運、縁を始めとする全てについて、感謝の心を持って見直す事です。

そういう心になった時、初めて大神様が、幸せになれる様に、おはかり下さるのだと思います。

そうすれば、感謝のおまいりが自然に出来る様になり、全ての人や物にも感謝

の気持ちで接する事が出来るのだと思います。

日本は、不景気だとは言っても、ほとんどの人々は食べる事に困る事はないと思います。

また、普通に生活していれば、命を脅かされる事はないと思います。

戦争をしている国の人々は命を脅かされている上に、食べる物もないのです。

それでも、子供達には、「学校の先生になりたい」「だとか「お医者さんになりたい」だとか言う夢があるのです。そして、感謝の心があるのです。

大切な事は、今ある自分を幸せだと受け止める心で日々感謝のおまいりをする事です。

決して、現状に満足しろと言う事ではありません。

しかし、何事にも感謝出来る人間になれば、大神様は、幸せになれる様にお導き下さるのです。

それは、自分の心の持ち方次第なのです。



ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。

生 翁 庵

新宿区神楽坂 1-10
☎ 03 (3260) 2715

日立チェーンストール
ソニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

榊原電機株式会社

中野区沼袋 1-2-12
☎ 03-3387-6351(代)

KANEDA
Co-advance

油のことなら何でもご相談下さい。
食用油脂・食品・調味料
石油製品・化学製品

カネダ株式会社

本社 東京都台東区浅草 1丁目 34番 9号
〒111 TEL.03-3861-1311 (代)
営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡
http://www.abura-ya.com/
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

人間ドック

疾病の早期発見・早期治療から予防
そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

◆資料無料送呈◆

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史
東京都文京区西片 1-15-10
TEL.03-3816-5840

ボリューム満点 “おいしいラーメンの店”

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

らーめんはうす

川崎市多摩区登戸 3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ

宮川食鳥鶏卵株式会社

東京都中央区築地 1-4-7
電話 03 (3541) 0164・0177・0370
FAX 03 (3541) 0164

社務所からのお願い

いよいよ春季例大祭の季節となりました。

皆様方から毎年頂いております年會費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年會費 (月間五百円)

年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料

年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料

年間五千円

口座番号は、左記の通り

○二九〇一七―三三八一二

*お手数ですが、通信欄に年會費・管理料の区別を名記して下さい。

大祭の奉賛金と

御初穂料について

いよいよ、春季例大祭が近づいてまいりました。

大祭の度毎に、信者の皆様方にご協力して頂いておりますものに奉賛金があります。この奉賛金は、大祭を執り行なう為に必要な諸

経費を賄う運営資金として役立たせて頂いておりますので、よろしくご了承下さいませ。(大祭の準備費用とお考え下さい。)

また、大祭の当日(代参の方は前日まで)に御神前にお供えする感謝のしるしとしての御初穂料があります。この御初穂は、日頃から大神様に御守護して頂いている感謝の気持ちを形に表わす意味のものです。

(直接、御神前にお供えます。)

古い会員の方々には今更

改めて申し上げる迄もない事で、誠に失礼とは存じましたが、新しい会員の方々より質問がありましたので、この際(当初ご奉賛をお願いしてより数十年経過しております)、新しい信者さん方には、その目的とか意義の違いがわかりにならない方も多分おられるのではないかと思われましたので(その趣旨の違いを改めてご説明させて頂きました)様な次第でございます。

何卒右、ご理解の上、ご協賛賜ります様、今後共よろしくお願い致します。

八の日の月並祭にお詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃の御加護に感謝する御祭です。自分の損得を抜きにして本当に感謝のお詣りをさせて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈りしているからいいです』とか言い訳しないで、出来るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回あります。せめて一日ぐらいは、自分自身で日を決めてお詣り下さいませ。

特に総代の方、支部長の方、初心に返って、あの頃の生き生きとした、燃える様な気持ちを思い出して、お詣り下さい。

また、その後、勉強会をさせて頂き、大神様についてのお話を会長先生がして下さいませ。その他、皆様方の体験談や質問などごやかな雰囲気の中で、ディスカッション形式で座談会をしておりますので、是非ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、大神様は大手を広げてお待ちしておりますので…。

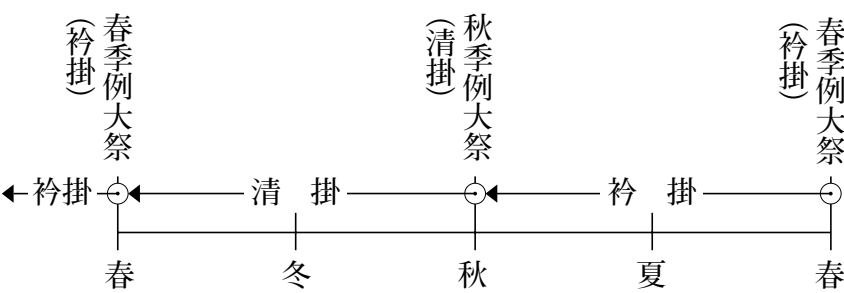
清掛と衿掛について

清掛と衿掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらつしやいますので、確認させて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆春季例大祭当日より秋季例大祭の前日まで衿掛の着用(夏季)

☆秋季例大祭当日より来年度の春季例大祭の前日まで清掛の着用(冬季)



真と理について

大国主大神は、人間を含めたこの世の全ては「真」と「理」とからなっているとお教えになっていきます。

私たちは毎日の実生活の中で、この二つを一体として、同時に磨きをかけて、大神様に近づくべく努力してゆく信仰、すなわち『真理の信仰』をめざしているのです。

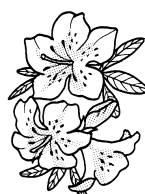
普通、世の中では「真」とは「偽りのないこと、まこと、本物」、「理」とは「物事の筋道、ことわり、道理」となっていますが、大国主大神は、もっと深い意味を説いて下さっています。

私たちの信仰での「真」とは「神そのものであり、神様からいただいた目に見える心、気、魂といった目に見えないもので、無限で絶対的なもの」、「理」とは「この世のことわり、肉体とか、態度・行為といった目に見えるもので、有限で相対的なもの」としてとらえています。

玉串拝礼について

一昨年の春季例大祭より、原点に立ち返り、一人一人に玉串拝礼をして頂く事となりました。真心を込めて御拝礼下さいませ。

尚、時間等の関係上、六名様ずつ(基本的に) 拝礼して頂きますので、左右の方とお気持ちを合わせて、御拝礼お願い致します。



正一位中子稲荷 いなり茶屋
 ~法事会席3,500円より承っております~
 水曜日定休
 営業時間 午前11時~午後3時
 午後6時~午後10時
 群馬県北群馬郡伊香保町509-3
 天田 信良・典子
TEL.0279-72-4465

広告募集中

○年間三万円より
○内容詳細は
電話にて
お気軽に!

○四四(九七六)二八八二一

佐藤まで

『ことむけ』について

『ことむけ』とは、言葉をもつて従わせるといふ意味であり、国譲りの際、三回あった。

最初は、天穂日命が大国主神のもとへ派遣されるが天穂日命は、大国主神と仲良くなり、三年の間、高天原に帰ってこなかった。そこで次に使者として天若日子を遣わしたが、この神は、大国主神の娘と結婚し、やはり役目を果たすことが出来なかった。そして、三度めの正直ではないが、三回目に派遣された建御雷神によつて、『ことむけ』は成功し、国譲りがなされる事になるが、少しこの神話にふれてみよう。

原稿募集中

編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、その他、御意見・御感想な

大国主神に国譲りの諾否を問うたところ、大国主神は「わが子、事代主神と建御名方神に聞いてほしい」と答えた。そこで事代主神に聞くと「恐し、この国は天つ神の御子に立奉らむ」と申し上げ、天つ神の御子に恭順を誓った神が、事代主神であった。次に建御雷神は、建御名方神に問うが、この神は、すぐには服属しない。相手の力もあまり考えず、手で大岩を掲げて力比べを挑むが、負けてしま

い、信濃国(長野)の諏訪湖まで逃げ、この国から出ない事を約束し、更には、葦原中国を天つ神が治めることを了承したのであった。無事に国譲りが終了し、国つ神の頂点(司)に立つ大国主神の神殿づくりがは

ど、どんな小さな事でも結構です。皆様からのお便りを心よりお待ちしております。皆様の力で、心友会だよりの紙面を楽しく、内容を豊富にしてゆきましよう。是非、御協力下さい。

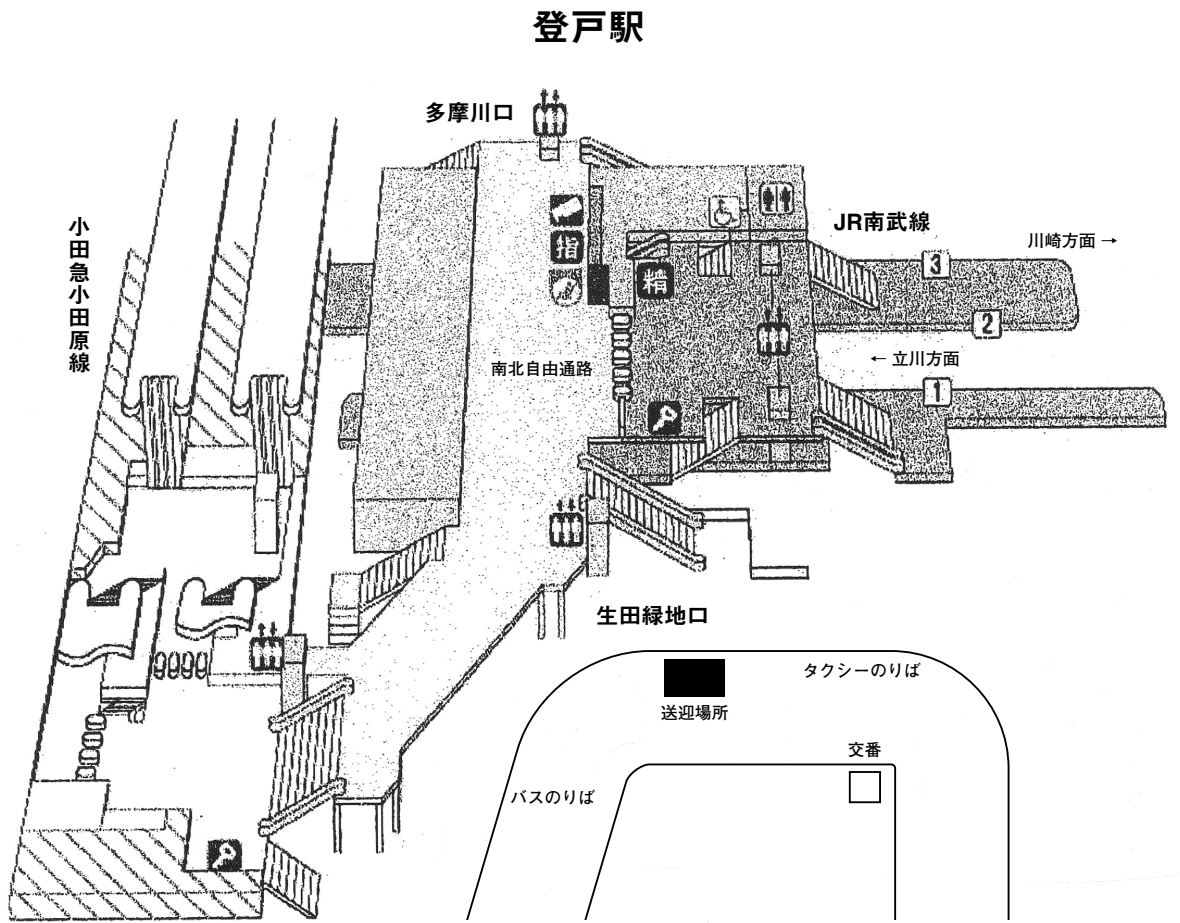
スサノオ伝説

スサノオノミコト(素戔嗚尊)は記紀にあるとおり、高天原において乱暴をきわめ、ついに、下界へ追放されます。そして『日本書紀』は「一書に伝える」として、つぎの神話を記しています。――(スサノオノミコト)は天降られたとき、多くの樹木の種子を持っておられた。そして国中にその種子を播かれたのである。まずお顔の髭を抜いて播かれた、すると、それは杉になった。また胸の毛を抜いて播かれた、すると、それは櫟、腋の毛を抜いて播かれた、すると、それは樟

になった。これを終えると、ミコトは、「杉と樟の二つは木は浮宝(船)として用いよ。檜は瑞宮(神社の建物)として用いよ。椈は、奥津棄戸(墓所)の棺に用いよ。さらに食物として、たくさんの木の実は国中に播くように」と、言奉られた。いかに神話に込められている、一書であります。

送迎駅の変更について

昨年、送迎場所が、向ヶ丘遊園駅より登戸駅に変わりましたのでご注意ください。詳細は、下記の通りです。



御遷座祭について

引越しをされたら、すみやかに心友会へ新しい住所をお知らせして頂くのはもちろんですが、荷物整理をされて、ある程度家の中がおちつ

いたら、大神様の引越しの報告祭である『御遷座祭』をしなければなりません。

その際、用意する物は、御初穂、御神体(大国様)、御神饌(鯛二匹、野菜七種類、赤飯)です。(御神饌は、末広

会でも用意出来ます。御希望の方はお申し込み下さい。

あらかじめ日程をおとり致しますので、社務所までお電話下さいませ。

五月〜七月の行事予定

五月

十日(日) 年祭 正午

十日(日) 総代会 四時

二十四(日) 春季例大祭 正午

閉扉祭 三時

六月

四日(木) みたま祭

五日(金) みたま祭

八日(月) 祖霊廟・祖霊社祭 二時

十四日(日) 年祭 正午

十四日(日) 総代会 四時

二十八(日) 大祓祭 二時

七月

四日(土) みたま祭

九日(木) みたま祭

十一(土) 分宮詣り

十九(日) 年祭 正午

十九(日) 総代会 四時

二十六(日) 水子冥福祭 二時

御伺日の予約について

- ☆3の日 (3日・13日・23日)
 - 9:30 ~ 11:30 (午前の部)
 - 13:00 ~ 15:30 (午後の部)
- ☆8の日 (8日・18日・28日)
 - 9:30 ~ 11:30 (午前の部のみ)
 - 午後1時より月並祭 (時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までにお電話下さい。お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。044-976-0708

五月二十四日(日)

春季例大祭 正午

毎年、春と秋の年二回、本殿に於て行われる最も大きな御祭です。また、日頃の感謝の気持ちを形に表わす絶好の機会でもあります。

大祭当日は、正面の御屏が開き、大神様からの波長(恩頼)を直接頂けますので、万障お繰り合わせの上おまいり下さいませ。

尚、大祭当日より衾掛の着用となりますのでご注意ください。(祝詞本をお持ち下さい。)

当日は、登戸駅生田緑地口よりお迎えのマイク口とワゴン車が出ておりますので、ご利用下さいませ。

五月二十四日(日) 三時 閉扉祭

午後三時より、春季例大祭でお開けした御扉を、大祭当日の御加護に感謝して、大神様に御礼の祝詞を奏上し、お閉めする御祭でございます。

正確には、この閉扉祭までが大祭でございますので出来るだけ参列下さい。

六月十四日(日)・七月十九日(日)

年祭(感謝祭) 正午

その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。

月並祭と同様、この年祭も自分の御利益ではなく、純粹に感謝の気持ちを大神様に御奉告申し上げる機会でもあります。

六月四日(木)・五日(金)／七月四日(土)

みたま祭(祖霊社)

お申し込みの際必ず、御供養ご希望のみたま様の生前のお名前、亡くなられた年月日、享年、続柄をお知らせ下さい。

尚、原則と致しまして、各月(その月)に命日を迎え

ハガキでご案内させて頂きますので、必ず出欠のお電話を下さいませ。

祖霊廟・祖霊社祭 二時

また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方も同様に直会(昼食)の都合がございますので、人数をご連絡下さいませ。直会までが御祭です。

尚、御神体(大国様)と衾掛をお忘れなくお持ち下さい。

られる方々の御供養をさせて頂きますので御了承下さいませ。(他の月のみたま祭は、ご相談下さい。)

申込順です。お早めにご連絡下さい。(予約制) また、神徒の方は、みたましろをお忘れなくお持ち下さいませ。

六月二十八日(日) 二時 大祓祭

人間は、知らず知らずのうちに言葉などで、人を傷つけているものです。こうした半年間の罪穢れを祓い清めて、新たな気持ちで、明日からの生活を始める為の御祭が大祓祭です。

当日は、大祓詞を三回奏上し、その時発せられる言葉(言霊または音霊)によって、自分自身の魂を浄化して、更には切麻によって身を清めます。

当日は祝詞本と衾掛を必ずお持ち下さい。

喪葬

☆三月二十四日に、川崎市多摩区にお住まいの吉澤実様のお父様、保次様が八十六歳で、帰幽されました。

吉澤家の御遺族の方々には、慎んでお悔やみを申し上げると共に、みたま様の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

みたま祭だより

四月

- 細矢家 加藤ノブ家
- 伊坂家 熊野家 谷口家
- 大久保家 加藤千恵家
- 染野家 土屋家 佐藤家
- 高橋茂子家 高橋美篤家
- 大平家 吉田家

以上の家々の御供養を、御奉仕申し上げます。

編集後記

☆御神像の竣工祭及び除幕式には、ご参列有難うございました。大祭で、又お会いしましょう。